

年 頭 所 感

北海道知事 ^{すず}鈴 ^き木 ^{なお}直 ^{みち}道



新年明けましておめでとうございます。皆様とともに新たな年を迎えられたことを、大変うれしく思います。

また、北海道医師会の皆様には日頃から、道民の命と健康を守るため、保健・医療・福祉の充実にご尽力いただくとともに、道政各般にわたり、深いご理解と温かいご支援を賜り、心から感謝申し上げます。

昨年を振り返りますと、能登半島地震や各地での大雨など全国で大規模災害が相次ぎ、宮崎県沖で起きた地震では、初めて「南海トラフ地震臨時情報」が発表されました。また、秋には、道内の農場で高病原性鳥インフルエンザが発生し、防疫対策に取り組むとともに、物価の高騰による影響が長期化しており、本道経済の活性化を図るなど、道民の皆様の命と暮らしを守る思いを一層強くする年となりました。支援活動に関わられた全ての皆様に深く敬意を表します。

こうした中、本道のさらなる飛躍に向けた歩みが着実に進みました。

国家プロジェクトである次世代半導体の製造拠点ではEUV露光装置が搬入され、着実に整備が進むとともに、北海道・札幌「GX金融・資産運用特区」が国に認められ、国内随一の再生可能エネルギーのポテンシャルを有する北海道が、国内外から一層注目されようとしています。私自身、ニューヨーク州を訪問し、州政府関係機関と連携の枠組みを構築したところであり、先進地の知見も活かしてGX・DX産業の集積を目指します。

また、昨年は、北海道医師会の皆様をはじめとする多くの関係の皆様のご協力をいただきながら、「北

海道医療計画」をはじめとする14の保健・医療・福祉関連計画の見直し・策定を行い、新たな計画の下で、地域医療の確保をはじめ各般の施策を進めてまいりました。

保健・医療・福祉の充実に向けては、こどももまんなか社会の実現に向けた取組をはじめとする「子育てを社会全体で支える子ども応援社会の構築」地域医療構想の実現など「暮らしを守る地域医療の確保と健康づくりの推進」地域包括ケアによる高齢者支援など「誰もが暮らしやすい社会の構築」働き方改革の推進や多様な人材の参入促進など「医療・福祉サービスを担う人材の養成・確保」感染症の発生予防・まん延防止など「新たな感染症危機への備えの充実、強化」という5つの重点政策の柱に沿って施策を推進してまいります。

また、広域分散型である本道の地域実情を十分に踏まえ、住民・患者の皆様の視点に立ち、適切な役割分担の推進やこれまでの取組の一層の充実を図るとともに、医療DXの推進、医療従事者の確保対策、外来医療機能の確保、医療提供体制の充実・強化を図ってまいります。

道といたしましては、防災体制の確立など命と暮らしを守る取組を最優先としながら、北海道医師会の皆様とともに、保健・医療・福祉施策を推進し、地域医療をはじめ直面する課題に的確に対応し、将来にわたって持続可能な医療提供体制を構築するとともに、北海道の創生を進めてまいりますので、皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

本年が、北海道医師会の皆様にとりまして、輝かしい未来に向けた素晴らしい年となりますよう心からお祈り申し上げ、新年のご挨拶といたします。